

地域の和やかさ 歌に 古屋さん「小田原ってさ」作詞作曲

及活動に取り組み「春めき

小田原

南足柄市で
早咲き桜の普

財団「(同市塚原)の古屋
富雄理事長(69)が、隣接す
る小田原市の魅力を伝える



楽曲「小田原ってさ」を制作した古屋理事
長 = 南足柄市塚原

曲「小田原ってさ」を作詞作曲した。空撮映像と合わせた音楽動画も制作し、動画配信サイト「ユーチューブ」で配信している。

約5分の曲は、小田原の自然や歴史、食文化などに触れ、「魚が釣れたとお裾分けをされ、ミカンが実ればお返しをして」など、近所同士の交流などを和やかに描く。

古屋理事長はこれまでもさまざまな楽曲制作を手掛けていたが、新型コロナウイルス禍以降は足柄地域を元気づけようと、箱根町の曲を作るなど地元のPRにも力を注ぐ。映像は同市在住のドローン操縦士中島芳男さんが小田原城や漁港、駅前などを撮影した。

動画を通じて「肩の力がホッと抜けるような穏やかな場所を、より多くの人に伝えたい」という古屋理事長。3部作の予定で残り2曲は制作中だ。動画はユーチューブで「春めき財団」と検索。同財団でブルーレイディスクも販売する。問い合わせは古屋理事長 ☎ 90(7849)9200。

(沢村 成美)